

勝海舟の著「海軍歴史」に日本で初めての洋式帆船建造技術を実地で学ぶことができた「国の幸」と記されている出来ことが「ヘダ号」建造でした。

時は幕末、黒船来航に対し、尊王攘夷派と開国派との両論に揺れる中、近代化を推し進め、列国に並ぶ力をつける必要に迫られていた日本にとって、偶然起きたロシア軍艦「ディアナ号」の遭難により、ロシア皇帝へ窮状を伝えるための「ヘダ号」建造は、「日露通商条約」締結の交換条件として、日本が提示した近代造船技術の習得を目的とするものでした。

ロシア海軍雑誌には、日本全権の評価とあり「筒井肥前及び川路左衛門という全権たちは、その考え方や表情の豊かさ、礼儀正しさまた私達に対する気配りなどにつきましましては、教育を受けたヨーロッパ人とほとんど異なるところはありませんでした。二人はヨーロッパのいかなる場所におきましても、素晴らしい人物として認められるでありましょう」と書かれているそうです。



その他ロシア側の

記録には、事細かに遭難に至る経緯や救助された状況、ヘダ号建造に関する詳細、進水式、万歳をして戸田を出港してからロシアに帰国するまでの航路やできごとなどが記されているそうです。

この日、沼津市歴史講演会には元防衛省防衛研究所長の北澤法隆氏を迎え、専門的な講演にも関わらず、図書館会場には百四十名が参加し、地元の歴史に日本の歴史に登場する戸田のことを学ぼうとする熱気が感じられました。



戸田クリーンアップ大作戦！ 御浜海水浴場一水質調査も合格

- 5/29 イズラシ社員と戸田小児童70人が西浦と戸田を結ぶ県道沿いを清掃
- 6/8 沼津法人会(中島寿之支部長)・沼津市商工会戸田支部・戸田観光協会・NPO戸田塩の会・NPO戸田どっとこむ・文化協会・創価学会戸田支部、沼津市役所、日赤奉仕団など140人が御浜岬公園一帯を清掃しました。
- 6/10 戸田幼保小中児童生徒・老人クラブ・環境美化指導員・交通安全協会・同指導員等が地引網でオコゼ捕りを行いました。
- 6月 戸田連合自治会では地区清掃を各自治会ごとに行いました。
- *沼津市法人会戸田支部の呼びかけに市外からの参加者もあり、今後は地区内関係団体での調整を含め、外部への呼びかけも検討したいとの話が出ています。
- みんなで力を合わせて
美しいまちを作っていきましょう。

『第1回戸田まちなみ景観ワークショップ』

沼津市と東海大開発工学部は戸田の街並みを景観から見直すワークショップを開催 6/5



説明する東教授

学生15名、市職員・地域住民の40名が6グループに分かれ作戦会議



御浜岬班・富士見海岸通り班・ブチャーチンロード班・道龍川班・戸田ビュースポット班・サンセット通り班が戸田中を歩きました。



振り返り会議・模造紙にまとめてグループ発表しました。